第42回（令和8年）
柏流さよなら少年野球大会

優　勝　松戸レッドレイズ

準優勝　野田ベスト2025

第三位　NYブルースターズ

第四位　ミ ラ ク ル ズ



開催期間　令和７年１１月～令和８年３月

主　催　柏流さよなら少年野球大会　運営委員会

後　援　マルエス株式会社　流山クラブボーイズ

株式会社コントリビュート　NER企画

ボールが飛んだ。
こころも弾んだ。



「カキーン!」
その瞬間、青空に飛んだ
ボールのように
ぼくらのこころも弾んでいた。
マルエスボールは、
熱いスポーツマインドに響く
感動のドラマを応援します。

MARUS

本大会使用球

MARUS BALL
マルエスボール

(公財)全日本軟式野球連盟公認球
(公財)日本ソフトボール協会検定球

マルエス株式会社 兵庫・大阪・東京・名古屋・九州

第42回（令和8年度）
柏流さよなら少年野球大会

目　次

大会優勝旗及びトロフィー群・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第42回　柏流さよなら少年野球大会　決勝大会成績表　・・・・・・・ 2

第42回柏流さよなら少年野球　決勝大会概評　・・・・・・・・・・ 3

ベスト4チーム（写真）・・・・・・・・・・ 5

大会スナップ写真・・・・・・・・・・・・・ 7

ブロックリーグ戦　成績表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

ブロックリーグ戦　概　評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

第42回　柏流さよなら少年野球大会　参加チーム　・・・・・・・・・ 25

新聞掲載記事（朝日れすかPLUS）　・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

柏流さよなら少年野球大会のあゆみ　・・・・・・・・・・・・・・・ 28

柏流さよなら少年野球大会　歴代ベスト3　・・・・・・・・・・・・ 29

柏流さよなら少年野球大会　開催要項　・・・・・・・・・・・・・・ 31
（令和5年11月一部改正）

柏流さよなら少年野球大会　役員名簿　・・・・・・・・・・・・・・ 33
（令和6年7月一部改選）

第42回　柏流さよなら少年野球大会　会計報告　・・・・・・・・・・ 33

※写真提供：NER企画・ベスト4チーム


柏流さよなら少年野球大会
優勝
贈 ダイワマルエス株式会社
主催 柏流さよなら大会運営委員会



第42回
柏流さよなら決勝大会　成績表

開催月日 | 1月15日 | 2月22日 | 3月1日 |

開催グランド

2月16日（祝日）　野田河川敷グランド　A・B面
2月22日（土）　野田河川敷グランド　A面
3月 1日（日）　流山ボーイズグランド

野　田　野田ベスト2025　3
松　戸　トリプルスターズ　2

柏　SBOX　2
流　山　ミラクルズ　7

流　山　NYブルースターズ　6(4+2)
柏　K-NEXT-A　5(4+1)

松　戸　松戸レッドレイズ　4
柏　豊上ジュニアーズ　2

5
3

1
3

0
7

優勝
松戸レッドレイズ

三位決定戦
NYブルースターズ　2
ミラクルズ　1

★★決勝大会概評★★

松戸レッドレイズ完封勝ちで栄冠

準Ｖは野田ベスト　ＮＹブルースターズが三位

第４２回柏流さよなら大会の決勝大会は、参加した３７チームが８ブロックに分かれてリーグ戦を行い、そのうちのブロック首位となった８チームによって、令和８年２月１５日（日）と２２日(土)、３月１日（日）の３日間にわたって野田河川敷グランド及び流山クラブボーイズグランド（決勝戦のみ）に於いて開催された。

今年度の大会は当初の開催予定が２月１３日からであったが、雨などの都合で延びで初日が２月１５日となり、さらに以降も雨天及び出場チームの諸事情(市及び学校行事)によって再三開催月日が変更されての開催となった。この結果、初日の４試合は２月１５日にカリフ・ＳＧ旗争奪大会の開催グランドと重複しながら、野田河川敷ＡＢ面で行われた。

初日のカードではミラクルズがＳＢＯＸに大勝した以外の３試合は、全て僅差の試合で盛り上がった。その中ではＮＹブルースターズ vs Ｋ－ＮＥＸＴ－Ａ戦が大接戦で４－４のまま時間となったため、プレーオフのサドンデス試合となり、特別回の１回目に点を取り合った末、ＮＹブルースターズが勝利した。

また、松戸レッドレイズ vs 豊上ジュニアーズ戦は、優勝候補同士の対決で今年度の決勝大会では屈指の好カードだったが、気合に勝る松戸レッドレイズが勝利して優勝に向かって一歩前進した、逆に豊上ジュニアーズが初戦で敗退したのは珍しいケース。

ベスト４に進出した野田ベスト２０２５（以下野田ベスト)、ミラクルズ、ＮＹブルースターズ、松戸レッドレイズによる準決勝戦は、まず野田ベスト vs ミラクルズ戦は、野田ベストが初回に４点を挙げた先制攻撃が効いて快勝したのに対し、ＮＹブルースターズ vs 松戸レッドレイズ戦は、ともに今回旋風を巻き起こした登りチーム同士の対決らしい迫力に満ちた一戦となった。

初回に両チームが１点ずつ取り合い互角のスタートを切った後、１点を争う大接戦となったが、元気とファイトに勝る松戸レッドレイズが４回に勝越しの２点を奪って快勝して決勝戦に駒を進めた。

準決勝戦で敗れたミラクルズとＮＹブルースターズの三位決定戦は、本来は最終日に行われる決勝戦と同時開催の予定だったが、後援する流山クラブボーイズ側のグランド使用の都合により、今回に限って２２日の準決勝戦終了後野田河川敷グランドで特別に行うことになった。

この一戦はミラクルズが初回に、ＮＹブルースターズが２回にそれぞれ１点ずつ取り合って、以降両チーム譲らず息詰まる白熱の大接戦となった。結果は最終回の土壇場二死から、ＮＹブルースターズが２番打者山中のタイムリー安打で１点を奪ってサヨナラ勝ちした。敗れたミラクルズにとっては最終回は二死まで頑張ってきただけに、まさにこの失点は痛恨の極みだが、ここは殊勲打を放ったＮＹブルースターズ山中の活躍を称えたい。

野田ベスト vs 松戸レッドレイズの決勝戦は３月１日（日）流山クラブボーイズグランド

で行われた。この試合は最大の強敵・豊上シュニアーズと今大会で旋風を起こしたＮＹブルースターズを敗った松戸レッドレイズの勢いが止まらず、初回から先制点を挙げて主導権を握った。しかし３回までは野田ベストも最少の１失点だけに留めて頑張ったが、後半の４回と５回に松戸レッドレイズの打線が爆発してそれぞれ３点ずつ奪って合計６点を挙げ、５回裏に３点目を奪ったところでリードを７点差にし、この時点で規定によりコールドゲームとなって松戸レッドレイズが優勝に輝いた。

終わってみれば優勝した松戸レッドレイズの実力はさすがだったと言えるが、その要因は攻守に他チームを大きく上回る安定した活躍を発揮したことに加えて、初戦で最大の強敵・豊上ジュニアーズを撃破した自信も大きかった。

同チーム以外では野田ベストの準優勝も見事だが、三位を争ったＮＹブルースターズとミラクルズは実力も伯仲、前年度に続くベスト４進出で、野田ベストとともにさらにその実力と知名度を高めた。

なお、決勝戦が終了した後に行われた閉会式では、優勝及び準優勝チームの団体表彰と優勝した松戸レッドレイズの荻原明優選手に、流山クラブボーイズから最優秀選手賞が贈呈された。

以下は準決勝戦からの成績

◆準決勝戦　令和８年２月２２日（日）　野田河川敷グランドＡ面

ミ　ラ　ク　ル　ズ	０	０	１	２	０	０	＝	２
野田ベスト２０２５	４	０	１	０	０	Ｘ	＝	５

◆準決勝戦　令和８年２月２２日（日）　野田河川敷グランドＡ面

松 戸 レッドレイズ	１	０	０	２	０	０	＝	３
ＮＹフルースターズ	１	０	０	０	０	０	＝	１

◆三位決定戦　令和８年２月２２日(日)　野田河川敷グランドＡ面

ミ　ラ　ク　ル　ズ	１	０	０	０	０	０	＝	１
ＮＹブルースターズ	０	１	０	０	０	１Ｘ	＝	２

◆決 勝 戦　令和８年３月１日(日)　流山クラブボーイズグランド

野田ベスト２０２５	０	０	０	０	０		＝	０
松 戸 レッドレイズ	１	０	０	３	３Ｘ	コールド	＝	７

▽審判：球審・浅野　塁審:加藤、村松、加賀谷(各流山クラブボーイズ)



2026 CHAMPION



優　勝　松戸レッドレイズ



準優勝　野田ベスト2025



第三位　NYブルースターズ



第四位　ミラクルズ

開会式

令和8年2月15日
於 流山ボーイズグランド










SBOX
フォーセブン
柏の葉 JTL







熱戦









スナップ！












RED RAYS


RUKIA
3




DAISUKE
98
TOMOYA
14


















51


MUSASHI
03




YUSHIN
98








76

受賞スナップ







第42回
（令和8年）
柏流さよなら
少年野球大会

優勝

松戸レッドレイズ









準優勝
野田ベスト2025







第三位
NYブルースターズ





第四位　ミラクルズ



ブロックリーグ戦　勝敗表

A block

順位		野田ベスト2025	松戸LITTLE STARS 2025	流山ホークス	柏の葉JTL	フォーセブン	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	野田ベスト2025（野田）		○ 2−0	△ 4−4	○ 8−2	○ 10−5	4	3	0	1	7	24	11	13
2	松戸LITTLESTARS（松戸）	● 0−2		○ 5−0	○ 3−2	○ 11−1	4	3	1	0	6	19	5	14
3	流山ホークス（流山）	△ 4−4	● 0−5		△ 0−0	○ 8−1	4	1	1	2	4	12	10	2
4	柏の葉JTL（柏）	● 2−8	● 2−3	△ 0−0		○ 5−1	4	1	2	1	3	9	12	△3
5	フォーセブン（柏）	● 5−10	● 1−11	● 1−8	● 1−5		4	0	4	0	0	8	34	△25

B block

順位		トリプルスターズ	沼南フレンズ	沼南アストロズ	野田南部K	GBC流山	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	トリプルスターズ（松戸）		○ 8-5	△ 1−1	○ 8−5	○ 14−2	4	3	0	1	7	31	13	18
2	沼南フレンズ（柏）	● 5−8		○ 4−3	○ 10−9	○ 18−2	4	3	1	0	6	37	22	15
3	沼南アストロズ（柏）	△ 1−1	● 3−4		○ 7−1	○ 15−2	4	2	1	1	5	26	8	18
4	野田南部K（柏）	● 5−8	● 9−10	● 1−7		○ 14−13	4	1	3	0	2	29	38	△9
5	GBC流山（流山）	● 5−10	● 2−18	● 2−15	● 13−14		4	0	4	0	0	19	61	△42

ブロックリーグ戦　勝敗表

C block

順位		SBOX	トリプルレジェント	セントラルソフト連合	加賀ファィターズ	野田南部K	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	SBOX（柏）		○ 7−1	○ 6−3	● 0−1	△ 6−6	4	2	1	1	5	19	11	8
2	トリプルレジェント（我孫子）	● 1−7		△ 1−1	○ 7−2	○ 11−0	4	2	1	1	5	20	19	10
3	セントラル･ｿﾌﾄ連合（松戸）	● 3−6	△ 1−1		○ 4−3	△ 0−0	4	1	1	2	4	8	10	△2
4	加賀ファィターズ（柏）	○ 1−0	● 2−7	● 3−4		○ 3−1	4	2	2	0	4	9	12	△3
5	野田南部K（野田）	△ 6−6	● 0−11	△ 0−0	● 1−3		4	0	2	2	2	7	20	△13

D block

順位		ミラクルズ	DRIKS	白井ドリームス	LANユナイテッド	白王雀虎	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	ミラクルズ（流山）		○ 6−3	○ 10−0	○ 7−0	○ 20−0	4	4	0	0	8	43	3	40
2	DRIKS（柏）	● 3−6		○ 15−2	○ 6−2	○ 10−3	4	3	1	0	6	34	13	21
3	白井ドリームス（白井）	● 0−10	● 2−15		○ 7−0	○ 10−6	4	2	2	0	4	19	31	△12
4	LANユナイテッド（松戸）	● 0−7	● 2−6	● 0−7		○ 13−6	4	1	3	0	2	15	26	△13
5	白王雀虎（我孫子）	● 0−20	● 3−10	● 6−10	● 6−13		4	0	4	0	0	15	53	△38

ブロックリーグ戦　勝敗表

E block

順位		NYブルースターズ	柏M&Ms	ノースナイン	白井フェニックス	双葉・BC大和合同	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	NYブルースターズ（流山）		○ 3−0	○ 3−0	○ 21−3	○ 5−1	4	4	0	0	8	32	4	28
2	柏M&Ms（柏）	● 0−3		○ 5−2	○ 12−2	6−0	4	3	1	0	6	23	7	16
3	ノースナイン（越谷）	● 0−3	● 2−5		○ 9−1	○ 11−5	4	2	2	0	4	22	14	8
4	白井フェニックス（白井）	● 3−21	● 0−6	● 5−11		○ 10−2	4	1	2	0	2	18	40	△22
5	双葉·BC大和合同（松戸）	● 1−5	● 2−12	● 1−0	● 2−10		4	0	4	0	0	6	27	△22

F block

順位		KNEXT−A	JEKスターズ	馬橋プレミア	ストームユニオンズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	K−NEXT−A（柏）		○ 6−3	○ 7−1	○ 15−1	3	3	0	0	6	28	5	23
2	JEKスターズ（我孫子）	● 3−6		● 6−9	○ 8−2	3	1	1	0	2	17	17	0
3	馬橋プレミア（松戸）	● 1−7	○ 9−6		● 4−6	3	1	2	0	2	14	19	△5
4	ストームユニオンズ（流山）	● 1−15	● 2−8	○ 5−4		3	1	2	0	2	8	27	△19

ブロックリーグ戦　勝敗表

G block

順位		松戸レッドレイズ	大橋サンジュニアーズ	流山レイソル	K－NEXT¥B	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	松戸レッドレイズ（松戸）		○ 15－3	○ 7－2	○ 19－2	3	3	0	0	6	41	7	35
2	大橋サンジュニアーズ（松戸）	● 3－15		○ 4－3	○ 5－2	3	2	1	0	4	12	20	△8
3	流山レイソル（流山）	● 2－7	● 3－4		○ 10－3	3	1	2	0	2	15	14	△1
4	K－NEXT－B（柏）	● 2－10	● 2－5	● 3－10		3	0	3	0	0	7	25	△18

H block

順位		豊上ジュニアーズ	流東ウイングス	V－KING	侍モンキーズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
1	豊上ジュニアーズ（柏）		○ 4－1	○ 20－0	○ 10－0	3	3	0	0	6	34	1	33
2	流東ウイングス（流山）	● 1－4		○ 9－2	○ 7－1	3	2	1	0	4	17	7	10
3	V－KING（松戸）	● 0－20	● 2－9		○ 4－0	3	1	2	0	2	6	29	△23
4	侍モンキーズ（柏）	● 0－10	● 1－7	● 0－4		3	0	3	0	0	1	21	△20

●●● ブロックリーグ戦　概評 ●●●

◆Ａブロック

中盤までに松戸ＬＩＴＴＬＥ　ＳＴＡＲＳ（以下松戸）が３勝、野田ベスト２０２５が２勝１引分、流山ホークスが１勝２引分の成績で、首位争いはこの３チームに絞られた。終盤に入って流山ホークスが松戸に敗れてまず脱落。この結果、勝負は松戸と野田ベストの争いとなったが、直接対決で野田が勝利したため野田ベストが首位となった。

首位争いが終盤まで縺れたのは,戦前から首位候補の筆頭と見られていた流山ホークスが、１勝した後、２引分したが、この時点ではまだ残り試合に勝てば首位になる可能性もあったことが原因。終盤に松戸に敗れて脱落したことで、最終的には野田ベストと松戸の直接対決に絞られ、野田ベストが勝利したが、松戸にとってはこの敗戦がすべてだった。

終盤まで首位のチャンスがあった流山ホークスにとっては、野田ベストに引き分けたのはともかく、柏の葉ＪＴＬとも引分たほか、松戸に敗れたのが命取りとなった。

◆Ｂブロック

トリプルスターズが３位となった沼南アストロズと引き分けたが、他の３試合は確実に勝利して３勝１引分けの無傷で首位を決めた。

惜しかったのは同チームに敗れて３勝１敗で２位となった沼南フレンズ。トリブルスターズ戦が接戦だっただけに、この敗戦が致命傷となってしまった。

３位以下は勝ち星の差一つで順位が決まったが、そのなかで首位のトリプルスターズと引き分けた沼南アストロズの健闘は、沼南フレンズに惜敗しなければ首位のチャンスもあっただけに残念だった。

◆Ｃブロック

このブロックの首位争いは熾烈だった。最終的に２勝１敗１引分で首位となったＳＢＯＸと、同成績で２位となったトリブルレジェンドは、直接対決で勝利しているＳＢＯＸが上位となったが、ＳＢＯＸの敗戦は下位の加賀ファイターズ戦だけに、このブロックは各チームの実力が拮抗していた感じ。

２位となったトリプルレジェンドは、ＳＢＯＸ戦の敗戦はともかく、セントラルソフト連合と引き分け、そのセントラルソフト連合も下位の野田南部Ｋとも引き分けて、混戦に輪をかけた。

さらに加賀ファイターズは２、３位のトリプルレジェンドとセンラルソフト連合には敗れたものの、首位のＳＢＯＸには勝つなど、星の潰し合いが激烈を極めた。

最終的に首位となったＳＢＯＸは、結局トリプルレジェンドとセンラルソフト連合の上位チームに勝利した２勝が効いた。

◆Ｄブロック

ミラクルズが４戦文句なしの全勝で首位となり、他チームとの実力の差を見せつけた。ちなみに同チームが４試合で挙げた総得点４２点（１試合平均１０．５点）と総失点４点（１試合平均１点）がそれを証明している。

２位はミラクルズに敗れたＤＲＩＫＳが３勝１敗で確保したものの、同チームにとってはミラクルズ戦は先に行われた大会で勝利しているだけに、この敗戦は痛かった。

３位以下は勝ち星一つの差で順位が決定したが、同時にチームの実力は上位２チームとはかなり開きがあった感じ。

◆Ｅブロック

攻守に安定した実力のＮＹブルースターズと柏 **M&Ms** のマッチレースで終わった感じのブロック。この２チームは３位以下のチームには全て余裕で勝利していて、最終的には首位をかけて対決したが、ＮＹブルースターズが勝利して４戦全勝で首位を決めた。

柏Ｍ＆Ｍs にとっては実力は互角だっただけに、この敗戦で決勝大会への進出権を失った。

越谷市と白井市から参加したノースナインと白井フェニックスは善戦したが、上位２チームの壁は破れず、双葉・BC 大和合同とともに参加するだけ？の成績に終わった。

◆Ｆブロック

このブロックから４チーム編成。Ｋ－ＮＥＸＴ－Ａの実力が抜けていて３戦全勝で首位。

２位以下の３チームは１勝２敗の同成績で三つ巴となったため、順位は得失点差による決着となったが、最も点差の少ないＪＥＫスターズが２位、次いで馬橋プレミアが３位、ストームユニオンズが４位となった、。

２位以下３チームの対戦は、首位争いとは異なった次元でそれなりに活気がみられた。

◆Ｇブロック

松戸勢２強の対決が目玉で注目されたが、結果は松戸レッドレイズが大橋サンジュニアーズに大勝して３戦全勝で首位を決めた。敗れた大橋サンジュニアーズは流山レイソルには１点差の接戦勝ちて２勝はしたが、松戸レッドレイズに敗れて終演（決勝大会の進出権を喪失）となった。

◆Ｈブロック

豊上ジュニアーズの一人舞台（３戦全勝）で、流東ウイングスが脇役（２勝１敗）を勤めた。試合数が少なかったが、豊上ジュニアーズの破壊力が一際目立った。３試合で挙げた総得点４０点（１試合平均１３，３点）と総失点１点がそれを物語っている。

第42回 柏流さよなら大会 参加チーム名簿

地区	チーム名	チーム編成
◆流山地区（７チーム）		
	ミラクルズ	カージナルス、東深井ボーイズ、江戸川台フェニックス
	流山ホークス	単独
	流山レイソル	流山シャークス、初石クーガーズ、小田急ライオンズ
	ＮＹブルースターズ	長崎ＦＬＢ、八木南クラブ
	流東ウイングス	前ヶ崎クラブ、向小金ファイターズ、ありんこアントス
	ストームユニオンス	南流ファィターズ、流山マリーンズ、加岸ベァーズ
	ＧＢＣ流山	単独
◆柏地区（１２チーム）		
	柏Ｍ＆Ｍs	松葉ニューセラミックス、増尾レッドスターズ
	加賀ファイターズ	加賀シャトルズ、千代田ファイターズ
	フオーセブン	豊四季イークルス、若草、イリヤーズ
	侍モンキーズ	柏ヤンガース、新柏ツインズ
	柏の葉ＪＴＬ	伊勢原ジャガーズ、トライスター、リアノス
	ＳＢＯＸ	北柏スーパーナイン、大船コンドルズ、
	ＤＲＩＫＳ	柏ドリームス、光ケ丘シャークス
	Ｋ－ＮＥＸＴ－Ａ	ビクトリージャガーズ、酒井根東グリーンズ、北柏レッドファイターズ
	Ｋ－ＮＥＸＴ－Ｂ	ビクトリージャガーズ、酒井根東グリーンズ、北柏レッドファイターズ
	沼南アストロズ	沼南フラワーズ、沼南ファイターズ
	沼南フレンズ	高柳サンダース、泉ドラゴンＺ
	豊上ジュニアーズ	単独
◆松戸地区（９チーム）		
	大橋サンジュニアーズ	大橋みどりファィターズ、八柱サンジュニアーズ
	双葉・ＢＣ大和合同	双葉、ベースボールクラブ大和
	松戸レッドレイズ	常盤平ボーイズ、さつき（ソフト）、稔台（ソフト）、北松戸風の子（ソフト）
	松戸ＬＩＴＴＬＥ　ＳＴＡＲＳ2025	新松戸リトルベアーズ、根木内ヤングスターズ

地　区

チーム名	チーム編成
Ｖ－ＫＩＮＧ	小金原ビクトリー、矢切コンドルズ
トリプルスターズ	牧の原ジュニアーズ、松戸ＫＳカージナルス、五香メッツ
セントラル・ソフト連合	セントラルパークス、あじさいイーグルス、金ケ作子ども会ソフトボール部
ＬＡＮユナイテッド	高塚新田ラークス、野菊野ファイターズ、秋山ソフト
馬橋プレミア	馬橋東地区連、馬橋西地区連
松戸リトルスターズ２０２５	新松戸リトルベァーズ、根木内ヤングスターズ

◆野田地区（３チーム）

野田南部Ｏ	西新田クーカーズ、南部ルーキーズ、野田ブレーブス中地
野田南部Ｋ	西新田クーガーズ、南部ルーキーズ、野田ブレーブス中地
野田ベスト２０２５	野田ドンキース、野田ジャガーズ、清水タイガース、レッドファイターズ

◆我孫子地区（３チーム）

白王雀虎	白山クラブ、リトルキング、湖北台スパローズ、ブラックタイガース
ＪＥＫスターズ	リトルジャガーズ、リトルイーグルス、久寺家エラーズ、
トリプルレジェンド	湖北フレンズ、新木野コンドル、布佐スパイダーズ

◆越谷地区（１チーム）

ノースナイン	北越谷少年野球クラブ、荻島ナインズ

◆白井地区（２チーム）

白井ドリームス	白井ライナーズ、七次台ジャガーズ
白井フェニックス	単独



新聞掲載記事

21世紀を担う子どもたちのふるさとづくりと時代を創造するタウン情報紙

2026年4月号

朝日れすかPLUS

れ レジャー LEISURE　す スポーツ SPORT　か カルチャー CULTURE

ASA子ども スポーツ新聞 スポーツキッズ

No.471 45

2026年(令和8年)3月20日号 | 発行／朝日れすか編集室 協力／千葉北部朝日会 https://www.resuka.co.jp/ 朝日れすか

毎月2[illegible]0852 千葉県柏市旭町1-4-19-3F [TEL] 04(7143)4021 [FAX] 04(7143)3453

2025年(令和7年)3月20日号

[illegible]120,000部発行 ■配布地域／松戸市・柏市・流山市・野田市・我孫子市・印西市・鎌ケ谷市・白井市・市川市一部

千葉県中学新人駅伝大会
男女各63校出場
女子・野田南部 初V


スポーツ KIDS ピックアップ！

4面

野球

松戸レッドレイズV
野田ベスト、最後まで粘り

柏流さよなら大会

▷決勝

野田ベスト2025	0	0	0	0	0	0
松戸レッドレイズ	1	0	0	3	3	7



優勝した松戸レッドレイズ

第42回柏流さよなら大会決勝が3月1日、流山ボーイズグラウンドであり、松戸レッドレイズが野田ベスト2025を7−0で破り、五回コールドで優勝した。大会には東葛エリアを中心に、小学6年生の37チームが参加した。

松戸は常盤平ボーイズ、北松戸風の子、さつきの連合チーム。野田は清水タイガース、野田ジャガーズ、野田ドンキーズ、レッドファイターズの連合チーム。

松戸は初回、先頭打者の荻原明優が右前安打で出塁。1死二、三塁で、三塁走者荻原が遊ゴロの間に本塁を踏み、手堅く先制。その後は均衡した展開となったが、四回に3点を加えると、五回には1死満塁で山内寛大が走者一掃の二塁打を放ち、勝利を手にした。

野田は松戸の2投手に四回まで無安打に抑えられたが、五回、2死から連続安打を放ち、最後まで諦めない戦いぶりをみせた。

松戸の主将、稲村煌翔は「うちは3チームの連合チーム。コミュニケーションをとりながら、できるだけ早くチームが一つに解け合うように心がけた」と振り返った。この日、二塁打2本と活躍した山内は「この大会ではこれまで不調だったけど、今日が小学生最後の試合なので、思い切ってバットを振った。打席にベンチのみんなの声が伝わってきて、その声のおかげで打つことができた」とチームメイトに感謝した。

野田の主将、逆井悠真は「みんな、最後まで全力でプレーできてよかった。一緒に練習をし、試合をし、楽しかった。中学校では安打をいっぱい打てるようにしたい」と、次のステージに目を向けていた。


4回裏松戸レッドレイズ2死二、三塁、捕逸の間に三走の古田が本塁を突き、4点目。投手松村



柏流さよなら少年野球大会のあゆみ

昭和６０年に柏市内北部の柏友ジャニーズ、四小地区少年野球クラブと、同東部地区の黒葉留民図、流山市のカージナルスほか流山北部地区のチームが中心となって、６年生だけ出場の大会としてスタート。

初年度は出場チームも少なく、３ブロックのリーグ戦により、決勝戦はブロック１位チーム同士の総当たり制としたが、二年目から出場チームが増加したことで、以降４ブロックによるリーグ戦制に改めてこの方法を定着させた。同時に、決勝大会は各ブロック１位チームによりトーナメント戦で優勝を決め、三位決定戦は行わず同成績としてこの方法を継続して来たが、平成１５年の第１９回大会から三位決定戦を設定した。

大会名は、当初出場チームが柏市と流山市だけだったことから、両市の頭文字をとって「柏流」とし、さらに６年生にとっては野球が出来るのが時期的にも最後となることから、「さよなら」を後につけて「柏流さよならリーグ少年野球大会」とした。なお、出場資格を６年生だけに限定したことは、開催時期が新メンバー（５年生以下）の研修大会であるカリフ・ＳＧ旗争奪少年野球大会と重なることが最大要因。また、各市では秋季大会が終了した後で、時期的にも６年生だけの単独チームは編成が難しいことから、５チームまでの混成が可能で、人数が多い場合は２チーム以上での出場が認められるのも特徴。

さらに開催期間が１１月下旬から翌年３月上旬までの寒い時期に加え、天候及びグランドコンデションや確保面でもハンディがあること、指導者が他の大会と掛け持ちなどの理由から開会式は行わず、グランド確保、日程編成及び運営も全て各ブロックの当該チームに一任して来た。そして、決勝大会についても当初は当該チーム同士でグランド、日時を決めて行い、表彰式（閉会式）についても当該チームによる自主運営としてきた。

大会の定着にともない、平成６年以降に松戸市と野田市からの出場チームがあり、さらに平成１４年には我孫子市と三郷市から、そして近年はつくば市、成田市、吉川市、東京葛飾からも出場チームがあった。

ちなみに、当大会は平成１１年にボーイズリーグ・流山クラブ（現流山ボーイズ）のグランド（当時流山市東深井）を使用して初めて開会式を開催したが、これを機に平成１２年度から大会の正式な組織（柏流さよならリーグ少年野球大会運営委員会）が結成された。ともない以降の大会開催日を毎年初日は１月の成人の日（祝日）とし、決勝大会も２月初旬から３月上旬迄に決めて、最終日は流山ボーイズのグランドで開催することも決まった。

当大会の後援は、発足当初は使用球が昭和ゴム株式会社のＳＧボールであったが、同社が平成１５度一杯で軟式ボールの生産から撤退したため、代わって新たにダイワマルエス株式会社(現在のマルエス株式会社)が後援となった。また、平成１２年度から上記のボーイズリーグ・流山ボーイズが加わり、さらに写真撮影の共同写真企画も平成１４年度から正式に加わった。

大会名も従来の「柏流さよならリーグ少年野球大会」から、平成１５年度に現在の「柏流さよなら少年野球大会」に改称した。

柏流さよなら少年野球大会　歴代ベスト3

回数	開催年度	出場チーム数	優　勝	準優勝	第三位
1	1985 昭和60年	15	柏友ジャニーズ （柏）	カージナルス （流山）	黒葉留民図 （柏）
2	1986 昭和61年	24	タイタンズ （流山）	八木北オールスターズ （流山）	柏友トライスター（柏） 西原アローズ（柏）
3	1987 昭和62年	20	柏ライナーズ （柏）	中新宿ウィングス （柏）	千代田ファイターズ（柏） 四小地区少年野球クラブ（柏）
4	1988 昭和63年	20	トライスター （柏）	名戸ヶ谷アトミック （柏）	四小+柏友（柏） 八木北小A（柏）
5	1989 平成元年	18	柏友ジャニーズ （柏）	宮園イーグレッツ （流山）	千代田ファイターズ（柏） つくしアトミック（柏）
6	1990 平成2年	20	トライスター （柏）	名戸ヶ谷ファイブス （柏）	豊四季イーグルス（柏） 四小地区少年野球クラブ（柏）
7	1991 平成3年	20	流山ミラクルズA （流山）	伊勢原ジャガーズ （柏）	増尾クラブ（柏） 四小地区少年野球クラブ（柏）
8	1992 平成4年	20	南流クラブ （流山）	ありんこアントス （流山）	増尾クラブ（柏） 流山ミラクルズA（流山）
9	1993 平成5年	20	トライスター （柏）	八木南クラブ （流山）	千代田ファイターズ（柏） 加岸&西平井パワーズ（流山）
10	1994 平成6年	20	高野台ジャガーズ （柏）	柏フェアB （柏）	増尾オールスターズ（柏） 流山ミラクルズA（流山）
11	1995 平成7年	28	新松戸スターズ （松戸）	流山ミラクルズA （流山）	オール長崎（流山） サクセス（流山）
12	1996 平成8年	21	流山レイソル （流山）	三小クラブ （柏）	流山ミラクルズA（流山） 新松戸スターズ（松戸）
13	1997 平成9年	19	柏ボーイング& トライスター（柏）	流山ミラクルズA （流山）	三小クラブ（柏） 柏ドリームス（柏）
14	1998 平成10年	21	向小金ファイターズ （流山）	スーパースターズA （流山）	清水タイガース（野田） 流東クラブ（流山）
15	1999 平成11年	20	松葉ニューセラミックス （柏）	千代田ファイターズ （柏）	ミラクルズ（流山） 小金原ビクトリー（松戸）
16	2000 平成12年	24	ミラクルズ （流山）	長崎FLB （流山）	清水タイガース（野田） 流山レイソル（流山）
17	2001 平成13年	22	流山レイソル （流山）	南流ファイターズ （流山）	リトルベアーズ（松戸） 小金原ビクトリー（松戸）
18	2002 平成14年	35	松葉ニューセラミックス （柏）	流山レイソル （流山）	グッバイスワローズ（松戸） ミラクルズ（流山）
19	2003 平成15年	37	ファイヤーブレーブス （流山）	高野台ジャガーズ （柏）	スカイヤーズ （松戸）
20	2004 平成16年	42	セントラルパークス （松戸）	松飛台メジャーズ （松戸）	高野台ファイターズ （柏）
21	2005 平成17年	39	ミラクルズ （流山）	増尾オールスターズ （柏）	にしくぼフェニックス （松戸）
22	2006 平成18年	42	グレイトレイソル （流山）	中松ボンバーズ （我孫子）	フォーセブン （柏）
23	2007 平成19年	46	セントラルパークス （松戸）	松飛台メジャーズ （松戸）	JTBスターズ （柏）
24	2008 平成20年	57	マリンベアーズ （流山）	大津が丘ファイターズ （柏）	ジュニアファイターズ （流山）
25	2009 平成21年	51	松飛台メジャーズ （松戸）	ニューメジャーズ （松戸）	ヤングスターズ （松戸）

回数	開催年度	出場チーム数	優　勝	準優勝	第三位
26	2010 平成22年	59	小金原ビクトリー （松戸）	BDスターズ （野田）	アドウィンクラブ（柏） フレンズ（柏）
27	2011 平成23年	64	フレンズ （柏）	ブラックホークス （我孫子）	常盤平ボーイズ （松戸）
28	2012 平成24年	58	流山マリンベアーズ （流山）	松葉ドリームス （柏）	ジュニアファイターズ （流山）
29	2013 平成25年	58	増尾オールスターズ （柏）	フレンズ （柏）	松戸J&V （松戸）
30	2014 平成26年	49	松戸スターズ （松戸）	松飛台メジャーズ （松戸）	野田南部Y （野田）
31	2015 平成27年	49	加岸ジュニアファイターズ （流山）	JCミックス （柏）	増尾オールスターズ （柏）
32	2016 平成28年	42	ミラクルズ （流山）	柏DJM （柏）	SBOX （柏）
33	2017 平成29年	39	三郷フレンズ （三郷）	ニューメジャーズ （松戸）	松戸ゴールデンファイターズ （松戸）
34	2018 平成30年	36	野田南部R （野田）	フレンズ （柏）	ジャラーズ （我孫子）
35	2019 令和元年	38	清水タイガース （野田）	アドウィンクラブ （柏）	柏MJT （柏）
36	2020 令和2年	40	リトルブラックス （我孫子）	豊上ジュニアーズ （柏）	野田ベスト （野田）
37	2021 令和3年	40	● 松戸ゴールデンファイターズ（松戸）　● フレンズ（柏）　● 豊上ジュニアーズ（柏） ● 新柏ツインズ（柏）　● MTスターズ（柏）　● 光ヶ丘シャークス（柏）		
38	2022 令和4年	36	豊上ジュニアーズ （柏）	レッドインパルス （松戸）	松戸ゴールデンファイターズ （松戸）
39	2023 令和5年	33	流山レイソル （流山）	SBOX （柏）	豊上ジュニアーズ （柏）
40	2024 令和6年	32	ミラクルズ （流山）	豊上ジュニアーズ （柏）	小金原ビクトリー （松戸）
41	2025 令和7年	39	ミラクルズ （流山）	豊上ジュニアーズ （柏）	NYブルースターズ （流山）
42	2026 令和8年	37	松戸レッドレイズ （松戸）	野田ベスト2025 （野田）	NYブルースターズ （流山）

※第37回大会は、コロナの緊急事態宣言ため日程調整がつかず、決勝大会を行わずブロックリーグ戦の1位チームが優勝扱いとなりました。



柏流さよなら少年野球大会開催要項（令和５年１１月一部改正）

大　会　名　柏流さよなら少年野球大会

主催・主管　柏流さよなら少年野球大会運営委員会

後　　援　ダイワマルエス株式会社　株式会社共同写真企画　朝日スポーツキッズ
流山ボーイズ（全日本ボーイズリーグ加盟）　流山ロータリークラブ

開催期間　毎年１月成人の日（祝日）を初日として、同日流山ボーイズのグランドにて開会式を行い、以降２月一杯までをブロックリーグ戦（グランドはチームのグランド）に当てる。なお、ブロックリーグ戦は近年出場チームが各種大会と競合するケースが多いので、抽選会終了後開会式を待たずに早めに始めても良い。決勝大会は各ブロックの首位チームによりトーナメント方式で行なう。同大会の開催日は、原則として２月中旬から下旬とし、最終日（三位決定戦・決勝戦）は全て流山ボーイズのグランドで行う。

参加チーム　地域は原則として東葛地区を対象とするが『友軍』チームの出場も可。

出場資格　全て６年生のみ。単独チームで出場出来ない場合は、５チームまでの混成が認められる。メンバーが多い場合は、２チームの出場も可。
出場チームの名称は独自のものとしても良く、監督・コーチ・選手のユニホーム、背番号も統一しなくても可。

試合方法　①参加チームを数ブロックに分けてそれぞれ総当りリーグ戦を行い、首位チームのみが決勝大会に出場出来る。なお、順位の決定は勝点制とし、勝利が２点、引き分け１点、敗戦０点とし、勝ち点の最も多いチームを上位とする。

②リーグ戦で同成績の場合の順位は、次の規定で決定する。

１．対戦勝利チームが上位。三つ巴の場合は得失点差の最も多いチームが上位で、得失点差が同じ場合は総失点の少ないチームが上位となる。

２．但し、三つ巴でも不戦敗がある場合は、当該チームはたとえ得失点差で上回っても、３チームでの最下位となる。

③全試合６回または時間（シートノックを除き１時間３０分）制で、リーグ戦では得点差によるコールドゲームは適用しない。
但し、決勝大会はすべてコールドゲーム（4回以降7点差）の適用がある。

④６回または規定時間に達しても同点の場合は、リーグ戦は引き分けとし延長戦は行なわない。但し、決勝大会に限っては特別ルール(一死満塁で継続打者)の適用（但し、延長は２回までででそれ以降は抽選）がある。

⑤投手の投球規定回数は一試合３回（９アウト)、１日　１　回（１８アウト）までとし、いかなる場合でもそれ以上は投げられない。

⑥柏流さよなら少年野球大会と東葛地区親睦卒業大会の特別ルール

1．６年生最後の大会なので、控え選手の出場機会を出来るだけ多くする。そのために、下記の特別ルールを適用する。

2．投手以外の**「指名打者」２名を必ず出場させる。**メンバーが足りない場合はこの限りではないが、ベンチに選手がいる場合は指名打者は必ず出場させなければならない。なお、指名打者は守備につけても良い。

⑦その他のグランドルールは、当該グランドの特別ルールを適用する。

審判当番　リーグ戦については各ブロック内で話合って決定する。決勝大会については原則として役員が担当するが出場チームに協力を仰ぐ場合もある。

ブロック長　リーグ戦運営の総括責任者として、日程編成及び運営については「大会運営委員長」としての権限を有し、全ての責任を持つ。同時にリーグ内の試合結果などを大会事務局まで速やかに報告することを義務付ける。

事務局：平田宗久　ＴＥＬ／ＦＡＸ　０４－７１５５－４０５２

小泉博康　ＴＥＬ／ＦＡＸ　０４－７１５４－８５２９

報告は出来るだけＦＡＸでお願いいたします。

試合の結果はホームページ（担当：小泉）に掲載されます。

リーグ戦の日程はブロック長と良く話し合って決めてください。なお、**ブロック長に一任して決定した日程を２試合以上棄権した場合は、当該チームは自動的に失格**となり、以降の試合には出場出来ず、残り試合は全て不戦敗（得点は０－１５）となりますので、この点をブロック長は各チームに説明して徹底させて下さい。但し、特別な事情がある場合はこの限りではないが、ブロック長に事前連絡がない場合は認められない。

会　　費　１チーム　５０００円（抽選会の時に納入する）

提出書類　抽選会の時に出場チームは連絡責任者（名目上の代表者は不要）と監督名を申込書に記入して提出してもらいますので、その他の記載事項も含めて事前に確認しておいてください。記載事項の氏名は必ずフルネームで記入し、ＴＥＬ、チーム名なども間違いのないようにしてください。代理抽選の場合も同様で、その折会費も必ず納入してください。

表　　彰　優勝、準優勝、第三位、第四位の団体賞と、個人賞は流山ボーイズから、協賛あり。

付記事項　開会式には、各チームとも必ずプラカード（規格は自由）を持参してください。団旗の持込も歓迎します。

決勝大会でベスト4以上に進出したチームは、閉会式後に受賞した団体写真1枚と受賞スナップ写真及び準決勝戦以上の試合のスナップ写真数枚の提出（郵送で可）を義務付けます。その場合の送り先は下記宛に2ヶ月以内にお願い致します。

277-0034　柏市藤心2－4－16　山田晃一

柏流さよなら少年野球大会役員（令和6年7月一部改選）

会長	山田晃一	流山	東葛地区親睦少年野球大会会長
副会長	平田宗久	流山	千葉県少年野球連盟役員
運営委員長・会計兼務			流山少年野球連盟役員
副会長	堀江速人	野田	野田市少年野球連盟会長
事業部長	小泉博康	流山	流山市少年野球連盟役員
事業副部長	八鍬昌次	流山	流山市少年野球連盟役員
運営委員	松本秀樹	流山	江戸川台フェニックス
運営委員	亀田成美	流山	流山ホークス
運営委員	西ケ迫勝宏	流山	流山市少年野球連盟役員
運営委員	相原次郎	野田	野田ドンキーズ
運営委員	内田欣也	野田	野田市少年野球連盟役員
運営委員	山本拓	野田	野田市少年野球連盟役員
運営委員	池田進一	柏	柏市少年野球連盟役員
東葛親睦夏季大会会計兼務			
運営委員	寺田周一郎	柏	柏市少年野球連盟役員
運営委員	柿崎稔	柏	柏市少年野球連盟役員
運営委員	小田部英彦	柏	柏市少年野球連盟役員
運営委員	濱田健	柏	柏市少年野球連盟役員
運営委員	上村茂樹	柏	柏市少年野球連盟役員
運営委員	我妻和憲	松戸	松戸市少年野球連盟役員
運営委員	内山淳	松戸	松戸市少年野球連盟役員
運営委員	柴田清光	松戸	松戸市少年野球連盟役員

第42回　柏流さよなら少年野球大会　会計報告

◆収入の部　合計　￥ 212,784

●大会参加費	@5,000×37チーム	￥ 175,000
●第41回繰越金		￥ 37,784
●寄贈品	マルエス株式会社	ボール2ダース
●個人賞	流山クラブボーイズ	トロフィー

◆支出の部　合計　￥181,202

抽選会会場費	￥ 2,510
バッテリー購入(卒業大会と合資購入)	￥ 11,500
グランド使用料	￥ 7,840
試合用ボール	￥15,000
賞状代	￥10,000
トロフィー	￥19,352
冊子データ作成費	￥80,000
編集費（冊子作成）	￥20,000
編集費（山田氏）	￥ 5,000
審判員･本部役員（昼食代その他）	￥10,000

収入 ￥212,784円－支出 ￥181,202円＝収支合計　￥31,582円は第43回大会に繰り越します。

会計担当　　平田　宗久

Forever Glory Days!



嬉しい顔も
悔しい顔も
君のプレーを
アルバムに、パネルに！

全日本軟式野球連盟指定・各種競技団体指定

株式会社 共同写真企画

OSAKA TOKYO NAGOYA FUKUOKA

東京支社：〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-27-7（軟式野球会館）　☎03-5474-0741

◆本　社：TEL06-6453-5981　◆中部支店：TEL052-783-0825
◆東京サッカー事業部：TEL03-5474-0741　◆九州支店：TEL092-474-8621

▶卒業記念品作成致します。

ご予算は、ご相談下さい。
（一人あたり2,500円から7,000円）

▶ビデオ撮影承ります。

思い出の試合を確かな映像で
残しませんか?
卒団記念ビデオ制作承ります。
（一人あたり3,500円から）

●NER企画のスタンス●

1,写真を見て喜んでいただける人がいる写真を撮るように心がけます。

2,一枚の写真の中で主役は一人!

3,子供たちの表情を重視します!

4,徹底したコストダウンを図り、良質な写真を安価な値段で提供します!

スポーツ少年団・イベント・その他撮影承ります。

NER企画

〒270-1121 千葉県我孫子市中峠1604-90

TEL&FAX
04-7197-0115

緊急連絡先
070-5464-4481

選手の皆様、ご出場おめでとうございます

CONTRIBUTE

Character goods Producing Company
for the All Supporters

NO SPORTS NO LIFE

お客様の「思い出」を《かたち》に

大会記念品、オリジナルグッズのご要望は...

●大会記念オーダーシート送り先
FAX:　03−5247−1998
MAIL:　info-cnbt@sweet.ocn.ne.jp
〒132-0035　東京都江戸川区平井6-57-3-1F
株式会社コントリビュート　TEL:03-6675-2505

NAGAREYAMACLUB

中学硬式野球クラブ「流山クラブボーイズ」

(現小学6年生)募集中！



体験会実施のお知らせ

見学・体験随時募集

予約連絡不要です。
ご都合による途中の出入りも自由です！
まずは雰囲気を味わいに遊びに来てください！

詳細はHPをチェック！

流山クラブボーイズ　検索